

令和8年9月30日

各位

株式会社 徳
ノリックス株式会社・有限会社和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も日々の業務に専心して下さり、ありがとうございます。

短いストーリーを紹介します。

昔、あるところに非常に腕のいい「のこぎり職人」がいました。その一流の腕に惚れ込み、多くのお客様がその職人の「のこぎり」を買い求めていました。ところが時代が進むにつれて、「のこぎり」の需要が少しずつ減り始めます。

職人はお客様の要望に耳を傾け、さまざまな種類の「のこぎり」を作りました。お客さんの「もっと安いものが欲しい」という声に応じて、価格を抑えた商品も作りました。その結果、商品の種類も増え、お客様にも喜んでもらえるようになりました。しかし、これだけ努力したにもかかわらず、商売は次第にうまくいかなくなり、ついには店を閉めることになりました。

実はその頃、世の中では「電動のこぎり」が広く使われるようになり、職人が作ってきた昔ながらの「のこぎり」そのものが、必要とされなくなっていたのです。私はこの話を聞いて、「この職人はどうすればよかったのだろう」と考えました。職人としてさらに技術を極める道もあったでしょう。未知の分野である電動のこぎりに挑戦する方法もあったでしょう。あるいは、これまで培った技術を生かして、ハサミやナイフなど別の商品を作ることもできたかもしれません。

ビジネスの世界では今、この「のこぎり職人」と同じようなことが、さまざまなところで起きています。

一生懸命努力することはもちろん大切です。しかし、世の中が変われば、今までのやり方が通用しなくなることもあります。過去の成功にとらわれず、「今のままで本当にいいのか」と考えることも必要です。

私自身も、ときどき「自分はあの『のこぎり職人』になっていないだろうか」と自問しています。時代の変化を恐れず、お客様に喜んでいただくために、私たちも新しい一歩を踏み出していきたいと思います。

【社是】

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

【モットー】

「一膳入魂」～うまい料理は世のため人のため～

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう。

草々